

収支は5.5億円の黒字¹

(繰越額3.9億円を除く)

会計		歳入	歳出
普通会計	普通会計	365億4,516万3千円	356億302万円
	一般会計	365億7,700万7千円	356億3,512万5千円
	大中の湖地区基幹水利施設管理事業	3,108万円	3,108万円
	文化会館事業	8,013万円	7,986万9千円
公営事業会計	特別会計		
	国民健康保険	78億7,726万5千円	78億3,125万4千円
	後期高齢者医療	9億2,404万円	9億1,667万3千円
	介護認定審査会共同設置事業	3,158万2千円	3,158万2千円
	介護保険事業(保険事業勘定)	61億3,670万3千円	59億1,490万5千円
	介護保険事業(サービス事業勘定)	1,145万8千円	1,145万8千円

公営企業会計	収益	費用
病院事業会計	134億3,917万2千円	131億1,272万1千円
水道事業会計	16億6,325万円	15億1,386万1千円
下水道事業会計	20億5,246万4千円	20億1,242万7千円

問 財政課 TEL (36) 5750・FAX (32) 3237

「ハートフルで市民が主役」のまちづくりを目指し、持続可能な健全財政を維持しました。

平成30年度決算

詳しい内容は市ホームページで

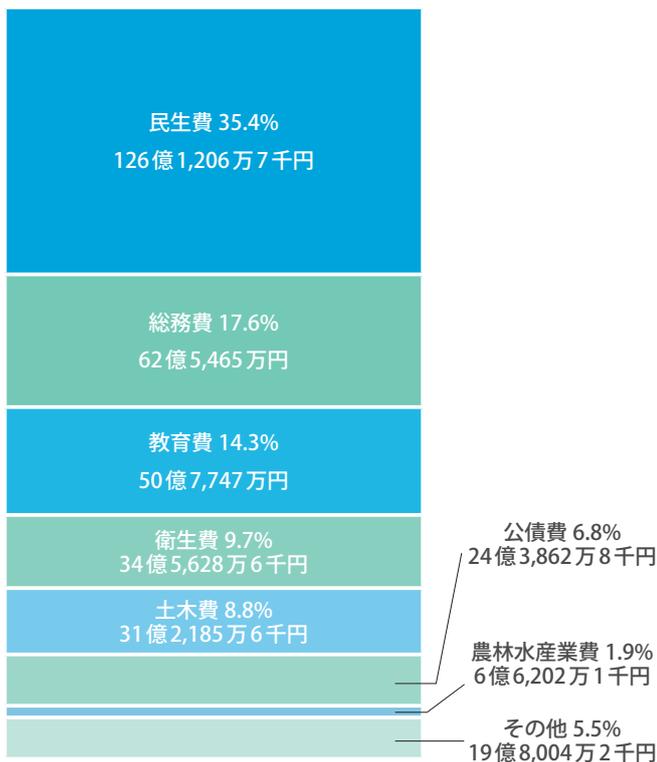
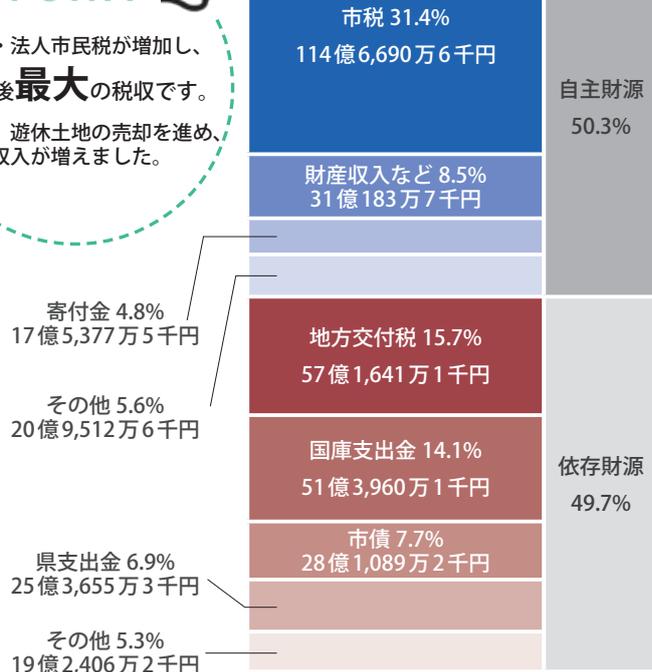


歳入総額 365億4,516万3千円

歳出総額 356億302万円

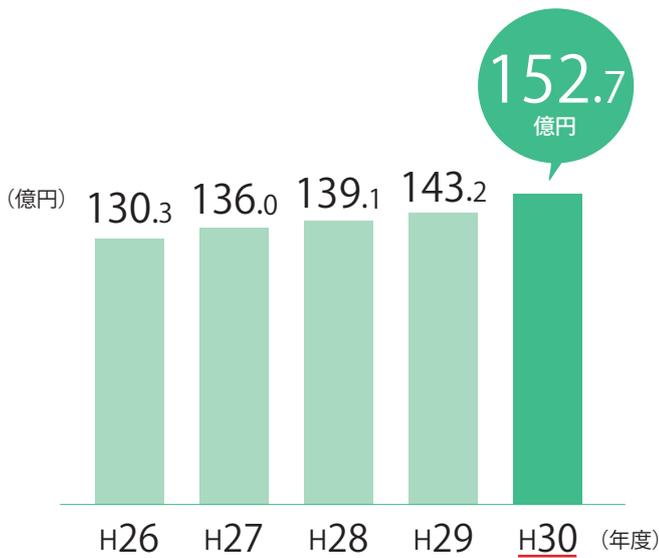
POINT

個人・法人市民税が増加し、合併後**最大**の税収です。また、遊休土地の売却を進め、財産収入が増えました。

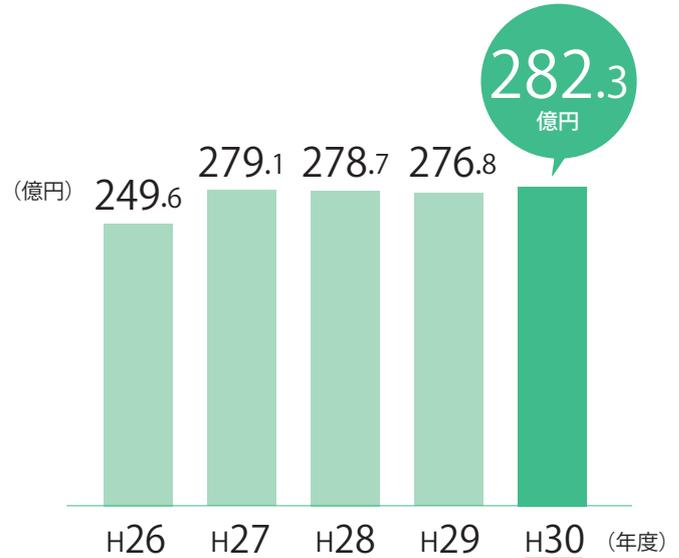


お金のやりくり

貯金と借金



ふるさと納税や市有財産の売却益の積み立てなどにより、貯金が前年度から9億5千万円増加し、152億7千万円になりました。



岡山コミュニティエリアの整備が本格化したことにより、借金が5億5千万円増加し、282億3千万円になりました。

財政は健全です。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。

実質公債費比率

平成30年度
3.1%



収入に対する借金返済額の割合を表す「実質公債費比率」は早期健全化基準である25%を大きく下回っています。

25%

早期健全化基準
(イエローカード)

35%

財政再生基準
(レッドカード)

将来負担比率

平成30年度
負担なし



収入に対し一般会計が将来負担すべき借金などの割合を表す「将来負担比率」は、負担なしを維持しています。

350%

早期健全化基準
(イエローカード)

一年間の成果

平成30年度もさまざまな事業を実施しました。
その一部をご紹介します。



岡山コミュニティエリアの整備 27億8,103万7千円

平成28年度から岡山学区の安全・安心、地域活動拠点として、小学校・地域防災センター・子どもの家の整備を進めてきました。平成30年12月に小学校・地域防災センターが完成し、平成31年1月に供用を開始しました。今年度は子どもの家の整備に取り組んでいます。



安土駅の南北駅前広場が完成

3億6,241万7千円

平成29年11月にJR安土駅が橋上駅舎としてリニューアルされて以来、南北駅前広場の整備を進め、平成31年2月に供用を開始しました。平成26年度から始まった安土駅周辺整備事業は、平成30年度末で全ての事業が完了しました。

桐原学区に認定こども園の施設を整備

2億8,283万3千円

市内で最も人口の多い学区である桐原学区。小学校区が二分されている一方で、幼稚園・保育所がそれぞれ1園しかないなど、学区内での保育の提供を拡充するため、民間から事業者を募集し、認定こども園を整備。平成30年度は桐原小学校区で建物の整備への支援・補助を行いました。今年4月に開園した「きりはら遊こども園」の園内には、子どもたちの元気な声が響いています。



近江八幡市第1次総合計画を策定

1,234万7千円

平成22年の合併により誕生した新近江八幡市では「新市基本計画」に基づき、各施策に取り組んできました。社会情勢の変化に伴う新たな課題に対応し、まちづくりのさらなる向上と進展をめざし、【人がつながり 未来をつむぐ「ふるさと近江八幡」】を将来のまちの姿として「近江八幡市第1次総合計画」を策定しました。令和10年度までの10年間、この計画に基づいて各施策を推進していきます。



馬淵小児童の思いを 込めたトイレが完成

3,806万1千円

大阪市立大学の大学院生とともに、市内小学校で5校目となる馬淵小学校のトイレ改修に取り組みました。トイレ全体を「自然」と捉え、1階は「水辺」、2階は「陸」、3階は「空」をイメージし、明るく開放的なトイレに仕上がりました。

A L Tを配置し、外国語教育を推進

2,822万2千円

市立各小・中学校に外国語指導助手(A L T)を6人配置。授業では、より実際の場面に近いコミュニケーションを行うことができました。また、外国の文化や暮らしなどに興味関心を高めたり、多様な考え方を受け入れる姿勢を育てたりするなど、豊かな国際感覚を養うことにつながられました。



安土城下町に情報案内板などを整備

4,053万7千円

安土城下町地区整備計画に基づき、安土城外堀周辺の道路を舗装し、親水デッキ・展望デッキを整備しました。また、安土城周辺を周遊しやすくするため、情報案内板を14カ所に設置しました。